

4年生

○紫つつじ見学 4月15日



伊奈富神社の紫つつじの見学に行きました。神社に着いたら、まず境内を回ってきれいに咲いている紫つつじを見学させていただきました。そのあと、伊奈富神社の宮司さんと禰宜さんからお話をうかがいました。「紫つつじ咲く丘を」で始まる稲生小学校の校歌の秘密や、何百年前も前からある紫つつじをずっと守っている人々のことなどについて教えていただきました。子どもたちは、紫つつじの美しさに触れ、毎年きれいな紫つつじを見ることができるのは、地域の人々の努力があるからだということを知ることができました。

○図工 シーサー作り 6月2日・3日

図工の時間に、粘土でシーサーの置物を作りました。「シーサー」とは、沖縄に古くから伝わる守り神のことです。今回は講師の先生に来て教えていただきました。まず初めに、説明を聞いて、顔と胴体の部分を作りました。



次に、目や鼻などの顔のパーツを作り、顔につけていきました。最後に、顔と胴体に思いおもしろい飾りをつけていきました。子どもたちは、鼻の形やしっぽの形を工夫したり、長い舌をつけたり、胴体にもようをつけたり、自由な発想で楽しく作ることができました。乾燥させてから、焼く工程を経て、思わずほほえんでしまうようなユニークな顔の、素敵なおシーサーが完成しました。

○Suzuka-ECO2 プロジェクト

「SDGs について考えよう」 6月28日・30日

鈴鹿市の「Suzuka-ECO2 プロジェクト」の環境出前授業がありました。三重県地球温暖化防止活動推進センターから推進員の方に来ていただき、社会科で学習したごみの問題から SDGs（持続可能な開発目標）



について考えました。まず初めに、ごみの学習の復習として、身の回りにあるいろいろなごみの分別を試してみました。そこで、ごみは資源として使えるものと使えないものがあること、ごみ进行处理するときに出る二酸化炭素が地球温暖化の原因となることなどをわかりやすく教えていただきました。次に、SDGs とは何かについて学習しました。今、地球で起きている環境問題についてクイズで考え、その環境問題は知らない国



で起きていることではなく、自分たちの暮らしともつながっていて、自分の問題として考えることが大切だと教えていただきました。最後に、自分が地球のために今日からできることを考えて紙に書き、貼っていきました。「給食を残さず食べる」「水を出しっぱなしにしない」「トイレの電気がついたら消す」など子どもたちは具体的な行動を考え、みんなで SDGs の木に花を咲かせました。